

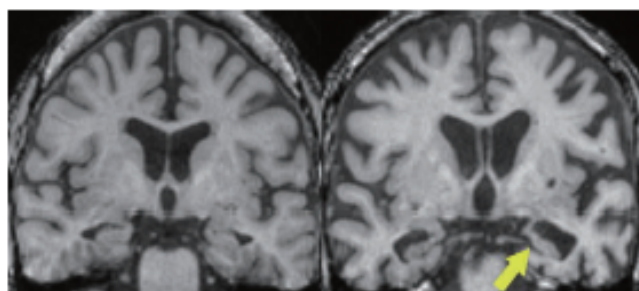
## 加齢による"もの忘れ"とアルツハイマー型認知症による"もの忘れ"の違い

加齢による物忘れ	アルツハイマー型認知症による物忘れ
体験の一部を忘れる 例) 朝食のメニュー	体験全体を忘れる 例) 朝食を食べたこと自体
時間や場所を正しく認識	時間や場所の認識が混乱
日常生活に支障はない	日常生活に支障がある

## ②アルツハイマー型認知症(AD)の診断

ADの診断は、問診と身体診察、認知機能検査、画像検査(MRI検査や脳血流SPECT検査)、血液検査などにより行います。MRI検査では海馬の萎縮(矢印)が特徴的です。

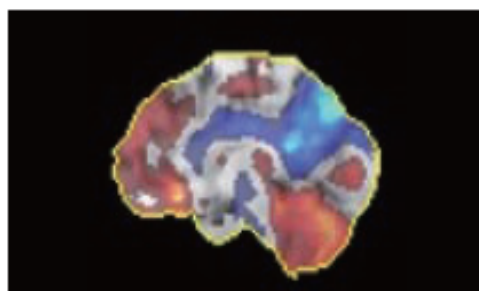
MRI検査



健常者

AD

脳血流SPECT検査



## ③アルツハイマー型認知症(AD)の治療

ADの症状に対する治療薬には、コリンエステラーゼ阻害薬(ドネペジルなど)とNMDA受容体拮抗薬(メマンチン)の2種類があります。両薬剤は、脳神経細胞同士の情報伝達を整えることにより症状を緩和させる働きがあります。

最近、AD発症の原因物質であるアミロイドベータという蛋白を除去する薬剤"レカネマブ"が保険適応となりました。これは画期的な薬剤ではありますが、投与対象となるのは発症からごく早期の患者さんに限られ、薬剤費が高額であることや副作用のリスクなどいくつかの課題があります。

認知症に対する適切な治療選択のためには、正しい診断が重要になります。また、認知症の治療には、薬物療法だけでなく運動療法や音楽療法などの非薬物療法や介護者のケアも大切になります。当科には日本神経学会専門医、認知症学会専門医が在籍しており、専門的な認知症医療を提供しています。当科受診をご希望される際はまずはかかりつけの医師にご相談ください。

